東日本鉄道東京広告会

東広会ニュース

1月号
2010年（平成22年）
Vol.67

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル14F
東日本鉄道東京広告会
電　話 03(5447)7928
E-MAIL info@tokokai.jp

新春を祝う「賀詞交歓会」開催

新年恒例の東広会主催第6回「賀詞交歓会」が、1月5日㈫18時からホテルメトロポリタンエドモントで開催された。会には、東日本旅客鉄道㈱代表取締役副社長事業創造本部長新井良亮氏、同常務取締役事業創造本部副本部長鎌田伸一郎氏、同取締役事業創造本部副本部長清水公男氏、㈱ジェイアール東日本企画常務取締役営業本部長松木茂氏、同常務取締役交通媒体本部長近藤雄二氏、㈱東京メディア・サービス代表取締役社長稲垣義孝氏、㈳全国鉄道広告振興協会会長岩﨑雄一氏をはじめ多数のご来賓を迎え、３４０名を超える参加者で賑わい、新年に相応しい盛大な交歓会となった。会場では新井良亮ＪＲ東日本副社長、佐々木信幸東広会会長の「新年のごあいさつ」が配られた。（挨拶文掲載）

新春を祝う、東日本旅客鉄道㈱
代表取締役副社長　事業創造本部長
新井　良亮氏

東日本旅客鉄道㈱代表取締役副社長
新井 良亮氏 あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別の御高配を賜り誠に有難うございました。また、日頃ＪＲ東日本グループならびに、弊社交通広告をご利用頂きまして有難うございます。

弊社の昨年を振り返りますと、長引く景気の低迷に加え、高速道路料金引き下げ、新型インフルエンザの流行などの影響を受け、経営環境は、これまで以上に厳しい１年でした。

しかし、鉄道事業におけるサービス向上や駅を中心とした生活サービス事業の推進を通じて、駅や車両の魅力を高め、広告需要が高まる環境づくりを積極的に行って参りました。

具体的には、広告媒体価値を高めるべく、Ｗ.ｉＭＡＸ通信を活用したデジタルポスターを東京駅、横浜駅、品川駅等の主要駅に設置し、広告主様のニーズに合わせて、広告意匠を時間帯や曜日別に表示することが可能になりました。また、新型成田エクスプレスにもトレインチャンネルの設置を行い、デジタルサイネージのネットワーク化も視野に入れた媒体開発を実施致しました。一方で、サインボードのサイズの統一化や媒体リニューアルなど既存媒体を活性化するための取り組みを行って参りました。

今後も、本日お集まり頂いている広告会社様や広告主様に引き続きご愛顧頂ける商品企画や、次世代の広告媒体の開発になお一層邁進していくことをお誓い申し上げる次第です。本年もご理解とご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様のご健康と各社様の益々のご発展を心より祈念し、新年のご挨拶とさせて頂きます。

東日本鉄道東京広告会会長
佐々木 信幸 あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は東日本鉄道東京広告会に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。また、交通広告・メディアを取り巻く環境が、近年稀にみる厳しさの中、引き続き鉄道広告を御愛顧頂き誠にありがとうございました。これもひとえに各会員の皆様方の営業活動のお蔭であり、心より御礼申し上げます。

挨拶をする東広会佐々木会長

昨年は大変厳しい景気の後退に加えて、広告業界に於いてはメディア構造が大きく変化を始める兆しの垣間見える一年でもありました。その様な状況下で、交通広告としても来るべき「デジタル時代」に備えて、様々な取り組みを行なって参りました。

具体的には、「トレインチャンネル」の京浜東北・根岸線全編成への導入、「トレインチャンネル」と「JR西日本WESTビジョン」のセット販売、「新型N'EX」へのトレインチャンネル導入、東京駅・横浜駅・品川駅を初めとした「デジタルポスター」の本格導入、恵比寿駅における「有機ELディスプレイ」の実証実験、東京駅における「プラズマチューブアレイ」の実証実験等であります。

本年も引き続き交通広告の特性を磨き、媒体価値向上の為に様々な施策に取り組んで参る所存でございます。

何卒、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝と各社様の益々のご繁栄を心より祈念し、新年のご挨拶とさせて頂きます。

横浜駅デジタルポスターで地域クライアントが展開開始!

12月20日(日)に設置拡大された横浜駅デジタルポスターに、12月28日(月)より横浜関連企業を中心とした広告主が展開を開始している。

広告主は、「横浜ロイヤルパークホテル」「ホテル、ニューグランド」「崎陽軒」「招福門」「重慶飯店」「ポートサービス」の6社で、デジタルポスターの特性を活かし、動画素材を活用した展開を実施している。

設置拡大された横浜駅南改札内デジタルポスター

設置拡大された横浜駅のデジタルポスターは8本の柱16面で、南改札のリニューアルに合わせ新たに開発された。既存の自由通路5本の柱5面とセットで販売されるため、横浜駅の利用者に効率的な広告訴求が期待できる。

南改札利用者の注目を集めている

デジタルポスター特別企画商品 第1弾が販売中

1月11日(月)より、トレインチャンネルの動画素材をお得な価格でデジタルポスターに出稿できる特別セット商品が販売されている。車内映像媒体の素材を駅でも展開することで、ターゲットに効果的な広告訴求が行える商品である。

詳細は、J企業務推進部まで。

J企交通媒体本部「2009年度第3四半期売上」まとまる

2009年度第3四半期の交通媒体本部売上は、92億16百万円で対前年84・4％となった。メディア別では、車両メディアが55億6百万円で対前年84・1％、駅メディアが35億29百万円で対前年84・4％となった。

■車両メディア

（実績55億6百万円、対前年84・1％）

『車内ポスター』の「3線群中づり」は、上半期に引き続き出版社の出稿が大きく減少したこと及び大口出稿の減少等により大幅な減収となった。「3線群まど上・ドア上」は、金融関連企業の出稿が減少したこと及び長期事前申込みの減少等により減収となった。また、「ドア横新B」についても出稿低迷の影響等により、減収となっている。

『ADトレイン等』及び『車体広告』は、山手線への出稿が減少したこと等により、減収となった。

『トレインチャンネル』は、販売も堅調に推移し、対前年49百万円の増収となった。また、10月より成田エクスプレス（N'EX）へのトレインチャンネル導入が始まっている。

■駅メディア

（実績35億29百万円、対前年84・4％）

『駅ポスター』は上半期に引き続き、新商品の販売や各種「企画商品」の積極的な販売に努めたものの、大口出稿の減少等、全体的な出稿低迷により対前年2億58百万円の減収となった。

『SPメディア』は、新規媒体の開発を行ったものの、全体的な出稿低迷の影響が大きく、対前年1億30百万円の減収となった。

『サインボード』は、「山手20面セット」等の新商品の開発・販売や山手線各駅のサインボード計113面での大規模展開により増収があったものの、駅改良工事等による媒体支障や喫煙設備撤去の影響及び媒体の返還拡大等により、対前年2億7百万円の減収となった。

『デジタルポスター』は、昨年12月より新たに横浜駅南改札内（16面）、新橋駅地下通路（10面）に設置され、展開を開始した。既存の5駅44面に加え、合計で6駅70面に拡大設置された。また、データの配信に大容量無線通信技術であるW-i-MAXを導入し、動画素材等の放映にも対応している。今後もデジタルポスターの設置が順次進められ、今年度中にも、合計100面を超える計画である。

＜2009年度第3四半期実績＞

（単位:百万円）

媒体		2008年度第3四半期	2009年度第3四半期	前年比	増減
車両メディア	車内ポスター	5,069	4,187	82.6%	−882
	ADトレイン等	294	178	60.5%	−116
	車体広告	264	169	64.0%	−95
	トレインチャンネル	923	972	105.3%	49
	車両メディア 計	6,550	5,506	84.1%	−1,044
駅メディア	駅ポスター	1,017	759	74.6%	−258
	SPメディア	651	521	80.0%	−130
	サインボード	2,278	2,071	90.9%	−207
	フリーペーパーラック店舗ラッピング	235	178	75.7%	−57
	駅メディア 計	4,181	3,529	84.4%	−652
その他※		190	181	95.3%	−9
合計		10,921	9,216	84.4%	−1,705

※デジタルポスター・オレンジカード他

原宿駅デミタスでイベント告知を展開

1月11日(月)より、原宿駅の媒体を活用し駅周辺のイベント告知を効果的に行う展開が実施されている。

広告主は青森県観光連盟で、2010年12月の東北新幹線開業に向けた観光キャンペーン告知を行っている。

展開媒体は、原宿駅表参道口改札内「原宿デミタス」で、原宿・表参道エリアで実施されている「とことん青森2010 in 原宿表参道」の告知となっている。

原宿駅利用者に対してイベント周知を図る効果的な展開で、駅利用者の注目を集めている。

展開期間は、1月11日(月)より24日(日)までの14日間。

原宿デミタスでの展開

年末年始の駅メディアで集中展開！

年末年始、首都圏の駅に利用者の注目を集める広告展開が実施された。

広告主は日清食品で、「東京ブライトピラー」と「東京中央通路電照デジタルシートセット」を活用し、東京駅中央通路周辺をジャック展開した。加えて、品川駅イベントスペースにはどん兵衛の大きなオブジェ広告が登場し、多くの駅利用者が携帯電話に写真をおさめていた。このほか、デジタルポスターのネットワークや駅ポスターを活用した展開も実施された。

「東京ブライトピラー」と「東京中央通路電照デジタルシートセット」で東京駅をジャック

【展開概要】

・東京ブライトピラー
・東京中央通路電照デジタルシートセット
・デジタルポスターステーションネットワークセット：12月28日(月)から1月10日(日)まで
・品川駅オブジェ広告：12月26日(土)から1月1日(金)まで

品川駅には大きなどん兵衛が登場した

品川フラッグ特殊展開

12月31日(木)より、品川駅中央改札内にヘリコプター型の大型バルーン広告が登場した。

広告主はフジテレビで、1月11日(月)より放映が開始されるドラマ「コードブルー 2nd season」の告知広告を行った。品川駅大型フラッグの位置に、ドラマに登場する「ドクターヘリ」に見立てた特殊広告を展開し、駅利用者の注目を集めた。品川駅には、「ドクターヘリ」を見上げる多くの駅利用者の姿が見られた。

展開期間は、12月31日(木)から1月11日(月)までの11日間。

品川駅に登場したヘリコプター型の特殊広告

作業責任者安全講習会の開催

平成21年度下期「作業責任者安全講習会」が東京メディア・サービス設備管理部の主催で2月10日(水)、15日(月)、16日(火)、18日(木)の4日間で継続講習会を延べ10回、並びに新規に受講される方への新規講習会を18日(木)に2回、池袋メトロポリタンプラザビル12階第一会議室で行なわれる。

この講習会の受講対象者は、駅構内で作業を行う作業責任者に対する「安全講習会」で、広告会社関連の社員だけではなく、駅構内で調査などを行なう社員等幅広いものとなっており、今年度2回目として実施される。

作業責任者に登録されている方は継続受講者として全員が受講することとなっており、受講されなかった場合は登録証が無効となるので注意されたい。講習内容は「作業責任者としての任務及び誘導員の任務の習得」となっている。

東広会会員には、既に東京メディア・サービスから各社あてに案内が送付され、受講申込締切日は1月29日(金)となっている。

※詳細は東京メディア・サービス設備管理部安全指導課（電話03-5391-1246）へ